

平成31年2月20日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成30年度 第3回 三部会合同部会

◆ 2月20日(水)、美しい多摩川フォーラムの平成30年 第3回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成31年2月20日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 2F ソアーベ
- ・出席者：副会長、部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会
2. 副会長・部会長挨拶
3. 経過報告
 - (1) 多摩川一斉水質調査新地点の現況確認および選定作業
(12/19、12/26、1/15、2/6、2/8)
 - (2) 第6回「多摩川流域魅力体験事業2018」実行委員会に出席(1/18)
 - (3) 平成31年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)(1/29 運営委員会)【資料1】
～当面の予定～
 - (4) 東北・夢の桜街道推進協議会・東北復興支援シンポジウムに協力(2/23)【資料2】
 - (5) 100年プラン・パンフレット完成(2月末)【回覧】
 - (6) 多摩川夢の桜街道～札所見直しに伴う「携帯マップ」改訂版完成(2月末)【回覧】
 - (7) 多摩川夢の桜街道～札所見直しに伴う「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ・リニューアルオープン(3月上旬)
 - (8) 多摩川子ども環境シンポジウム実行委員会(3/6)
 - (9) 桜ウォーキングと桜守学校(青梅駅～梅岩寺～釜の淵公園、リビング多摩)
(3/27)【資料3】
～平成31年度の予定～
 - (1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業
 - ①第10回“美しき桜心の物語”の語り会(八王子市・大光寺、語り部・かたりすと平野啓子副会長)(3/30)【資料4】
 - ②桜ウォーキングと桜守学校(武蔵小金井駅～都立武蔵野公園、リビング

多摩) (4/5) 【資料3】

(2) 多摩川“水”大学講座(府中市と共催、講師・小倉副会長)(5/17)【資料5】

4. 環境清流部会長報告

5. 意見交換

(1) 平成31年度事業計画・同予算(案)について【資料7】

(2) 多摩川子ども環境シンポジウムについて

(3) 来年度以降の当フォーラムの取り組みについて

(4) その他

6. 出席者全員の自己紹介(取り組み事例の発表)

7. 部会長総括

8. 閉会

1. 開会(初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成30年度第3回三部会合同部会を始めさせて頂きたいと思います。

始めに資料の確認ですが・・・(省略)。

なお、本日は副会長の平野教育文化部会長、堤地域経済活性化部会長代理が出張により欠席となりました。

それでは、小倉副会長、渡邊部会長より開会のご挨拶をよろしくお願いします。

2. 副会長・部会長挨拶

(小倉副会長)

皆さんこんにちは。本日は、第3回三部会合同部会にお集まりいただき、有り難うございます。今年度も沢山の事業が行われてきましたが、3月までまだ事業が残っていますので、その報告と、来年度についても多くの事業が計画されていますので、それについて意見をいただき、今後の活動の参考にしたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

(渡邊環境清流部会長)

皆さんこんにちは。今日は、経過報告の後、環境清流部会長報告として、私から多摩川一斉水質調査について過去11年間のデータ分析と考察をお話させて頂き、意見交換、取り組み事例の発表を予定しております。内容が盛り沢山ですが、16時半には終了ですので、皆さんのご協力をお願いいたします。

それでは事務局から経過報告をお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。前回12月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。

(1) 多摩川一斉水質調査新地点の現況確認および選定作業

(12/19、12/26、1/15、2/6、2/8)

- ・ 昨年10月より延べ12日間に亘り、多摩川一斉水質調査全75地点の現況確認および見直し選定作業を進めております。その結果、現在新たな調査地点を含め合計52地点で取り纏めました。本件は、渡邊環境清流部会長、山崎運営委員のボランティアによるご協力のもと実現しました。どうも有り難うございました。

(2) 第6回「多摩川流域魅力体験事業2018」実行委員会に出席 (1/18)

- ・ 1月18日に実行委員会が開催され、「多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリー」の開催日が本年11月23日(土)に決定しましたので、ご報告いたします。

(3) 平成31年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)(1/29 運営委員会)【資料1】

- ・ 【資料1】をご覧ください。1月29日の運営委員会において、第1号議案：平成31年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)が承認されました。なお、当日の議事録は美しい多摩川フォーラム公式ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

～当面の予定～

(4) 東北・夢の桜街道推進協議会・東北復興支援シンポジウムに協力(2/23)【資料2】

- ・ 【資料2】をご覧ください。約2年前の平成29年3月11日に、東京ウィメンズプラザにおいて東北復興支援シンポジウムが開催されました。今回も、「津波そして桜」の短編映画を上映し、パネルディスカッションでは、コーディネーターとして細野会長がご登壇されます。参加費は無料です。主催は東北・夢の桜街道推進協議会ですが、美しい多摩川フォーラムは構成員としてご協力させていただく予定です。皆さん、ぜひ会場に足をお運びください。

(5) 100年プラン・パンフレット完成(2月末)【回覧】

- ・ ただいま回覧させていただきますので、ご覧ください。昨年度、多摩川フォーラムは10周年を迎え、このたび、約5年ぶりにデザイン等全面改訂する内容で進めております。100年プランそのものは変わっておりませんが、フォー

ラム会員の増加に繋がり、フォーラム活動に楽しいイメージが湧くよう、見せ方を工夫し、全体として明るく柔らかいトーンに仕上げました。現在最終調整中で、今月末までに完成を目指します。

(6) 多摩川夢の桜街道～札所見直しに伴う「携帯マップ」改訂版完成（2月末）【回覧】

(7) 多摩川夢の桜街道～札所見直しに伴う「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ・リニューアルオープン（3月上旬）

- ・ (6) および (7) につきましては、多摩川夢の桜街道の札所見直しに伴う改訂となります。平成29年度に10周年記念事業として「札所の見直し」に着手、今年度は春から夏にかけて、大谷桜守にもご協力いただき、88ヵ所に足を運んで現地調査をおこない、秋にかけて新札所の選定を進め、最終的に9ヵ所の入れ替えにより、新札所を確定し、今春の「携帯マップ」改訂と「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ・リニューアルオープンを目指し、最終調整を進めているところです。マップ改訂につきましては、未完成ですが現段階のものを回覧させていただきますのでご覧ください。

また、「多摩川夢の桜街道」公式ホームページにつきましては、前方のスクリーンをご覧ください。簡単にご紹介させていただきますと、これがトップ画面になります。桜の開花情報につきましては、従来と比べて表示を大きくしております。また、新たにNEWSというスペースを設けました。なお、動画につきましては、10周年記念事業で制作した「ドローンを活用した多摩川空撮映像」を桜の映像にフォーカスして編集・制作中で、ここに埋め込む方向で準備を進めております。「流域全体」をクリックすると、ここに流域全体の桜マップが表示されます。さらに流域全体を4つのエリアに区分しており、「下流域エリア」をクリックすると、ここに下流域エリアの桜マップが表示されます。「札所名」をクリックすると、ここに写真2枚がスライドで交互に表示されます。写真の下欄には、札所の詳細な情報が表示されます。

トップページに戻って「桜の開花情報」ページをご紹介します。こちらをクリックすると、桜の札所・八十八ヵ所すべての桜の開花状況が分かるようになっています。主に行政と連携して開花情報を入手する予定ですが、会員の方からも情報をお待ちしております。今回新たに設置するのですが、こちらをクリックすると、開花情報を入力できるフォームが開きます。皆さまのお住まいやお勤め先近くに札所があれば、ぜひタイムリーな開花情報をお寄せください。札所を選択して開花状況を6段階から選び、開花状況を確認した月日を入力するだけです。任意で桜の写真も添付できます。スマートフォンでもご利用可能です。なお、ご提供いただいた写真は、当フォーラムのFacebookでご紹介できればと考えております。会員の皆さんで、この「多摩川夢の桜街道」をさらに

盛り上げていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

～平成31年度の予定～

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

① 第10回“美しき桜心の物語”の語り会（八王子市・大光寺、語り部・かたりすと平野啓子副会長）(3/30)【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。今年も平野副会長にご出演いただき、八王子市様と連携して、大光寺にて桜の語り会を開催いたします。

(2) 多摩川“水”大学講座（府中市と共催、講師・小倉副会長）(5/17)【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。8年目となる今年度は、府中市様との共催のもと、実施する予定です。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指します。事務局からの報告は以上です。渡邊部会長、よろしく願いいたします。

(渡邊部会長)

事務局からの経過報告について、何かご意見・ご質問はございますか。

(軸丸 様)

「多摩川夢の桜街道」のホームページについて、英語版は準備されるのでしょうか。

(事務局)

英語版や中国語版については、リニューアルに着手する前から話をいただいておりますが、予算の関係もあり、準備しておりません。今後の課題として考えています。

(渡邊部会長)

有り難うございました。他にご質問やご意見はありますか。ないようでしたら、私の方から報告をさせていただきます。

4. 環境清流部会長報告（渡邊部会長）

「多摩川一斉水質調査について（過去11年間のデータ分析と考察）」【資料6】

(渡邊部会長)

前方のスクリーンをご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、平成20年度から多摩川一斉水質調査をおこない、今年度で第11回目となりました。多摩川は、東京の真ん中を流れる大動脈になっており、小作取水堰、羽村取水堰で取水されて都民の飲料水として利用されています。また、多摩川河川敷では、都民がスポーツ活動を

おこない、憩いの場として大変重要な役割を果たしています。人間の体の約60%は水で出来ていますから、水は人間にとってとても大切です。昭島市と羽村市は地下水を利用していますが、それ以外の都民のほとんどが多摩川の水を飲料水として利用していますので、多摩川の水質は、都民にとってとても重要なのです。

今までの経緯をご説明します。この写真は、昭和30年～40年頃の高摩川で、このように泡みれの光景が良く見られました。この時代にはまだ下水処理場がなかったため、家庭から出た洗剤等が直接高摩川に流れ込んでいました。私は昭和38年に東京に出てきたので、当時の川は見えておりませんが、こんな状況でした。

この写真は、旧建設省京浜工事事務所（現国交省京浜河川事務所）が立てた看板で、「このアワは主に家庭洗剤のためです。川をきれいにしましょう」と書かれています。このような状態の高摩川を綺麗にするため、下水処理場が作られました。

三鷹下水処理場(単独処理区)	昭和39年(1964年)
立川錦町下水処理場(単独処理区)	42年(1967年)
北高摩2号水再生センター(国立)	48年(1973年)
高摩川上流水再生センター(昭島)	53年(1978年)
北高摩上流水再生センター(府中)	64年(1989年)

最終的に、10カ所の下水処理場が建設されました。ここで処理された処理水は、高摩川に放流されます。高摩川上流水再生センターでさらに高度処理された水は、野火止用水と玉川上水に放流されています。

東京河川ルネサンス21検討委員会は、「21世紀における東京の川の望ましい姿」を平成8年6月に取りまとめ、以下のように報告しました。

【21世紀の東京の川づくりの基本理念：地域に活きた親しめる川の復活】

そして、川のあるべき姿として、以下4つの姿が提案されました。

1. 安心できる川
2. 人が集まり、行き交う川
3. 散策・水遊びの出来る川
4. アユが生育できるような、人間にとって、そして生き物にとって好ましい自然を育む基盤となる緑豊かなアユのすむ川

私もこの頃から川の活動を始めましたが、東京都は基本理念に基づいて川づくりをおこなっているということがわかります。荒川の支流である青梅の霞川について、河川改修工事をやっておりますが、私どもの団体が、「できるだけ川に近づけるような川にしてもらいたい」と要請したところ、川に降りられる階段を作ってくれたり、道路には植物を植えてくれたり、子どもたちがいかだ遊びをする時には堰を作ってくれたり、活動に協力してくれました。

これらの写真は、平成29年4月13日に調布取水堰を見学した時のものです。高摩川流域の生活排水は処理され、高摩川の水は綺麗になり、アユが沢山遡上す

るようになりました。この日は山崎運営委員に案内してもらったのですが、アユが遡上する姿を見ることができて感動しました。東京都の基本理念に則って進んでいけば、東京都の川は誇れる川になるであろうと思います。

こちらのグラフは、東京都島しょ農林水産総合センターの「多摩川のアユ遡上推移」です。このデータによれば、平成24年度は1,194万尾のアユが遡上したことになり、近年も沢山のアユが遡上していることがわかります。

現在、下水処理場はほぼ100%完備され、川もかなり綺麗になってきましたが、ではどのくらい綺麗になってきたのでしょうか。東京都では水質に関する沢山の数字を出していますが、グラフ化しないとわかりにくいところがあるので、市民が行う環境調査はとても重要です。小倉副会長が提唱する『『市民環境科学』身近な河川の水質調査の意義について』によれば、

- 市民自らが水環境を調査し、その実態を把握することができ、水環境について考えるきっかけになる。
- 調査した結果に基づいて、必要に応じ水環境の保全・修復の実践活動を行うことが出来る。
- 子どもたちが調査に参加することにより次世代へ繋げることが出来る。

以上の趣旨から、美しい多摩川フォーラムでは平成20年度より多摩川の水質調査を開始し、今年度で11回実施されました。この調査は、毎年6月第一日曜日に実施されます。6月は環境月間ですし、6月5日は「環境の日」です。こんなことから、年一回の大々的な調査をおこなっています。上流は丹波山から、下流は羽田までの計75カ所で調査をおこなってきました。

実際の調査方法について簡単に説明します。6月第一日曜日の朝、75カ所の現地に行き、まず、濁りがあるか、匂いがあるか、魚がいるか、どんな植物が生えているか等の水の状態を記録します。次に、太陽の光が直接当たらない日陰の、地上1.5m付近で気温を測ります。そして水温を測り、採水します。採水した水をペットボトルに入れ、検査会場である青梅信用金庫本店に持っていきます。

こちらは採水した水を調査する試薬で、CODパックテストです。そしてこちらは電気伝導率計とデジタルパックテスト（硝酸態窒素とリン酸対リンを計測する器械）です。この電気伝導率計とデジタルパックテストは、とうきゅう環境財団さんの助成金を活用して購入しました。こちらの写真は、実際に測定している様子です。

測定結果について説明します。まずCOD（水の中に含まれている有機物による汚れを数値で表したもの）です。河川は一般的にBODを用いますが、結果が出るのに5日もかかり、市民の測定には向かないので、CODを採用しています。

汚れの程度ですが、0～3 mg/L未満が「きれい」、3～6未満が「やや汚れている」、6以上が「汚れている」となります。これは過去11年間における多摩川本川のCOD（平均値）のグラフですが、1番から45番・JR八高線鉄橋下までは3 mg/L以下で、綺麗であると言えます。47番・多摩大橋下から急に値が高くなっています。ここには多摩川上流水再生センターがあり、下水処理水の可能性が高いです。グラフの右側に、多摩川上流水再生センターのパンフレットから引用したデータを載せました。これによれば、CODの流入水が110で、放流水が8となっています。これは、下水を処理することによって110→8 mg/Lまで値が下がり、多摩川に放流されるということです。ちなみに八王子水再生センターの放流水は9 mg/Lです。このことから、下水処理水が入ると、上流に比べて値が高くなるということがわかります。平均すると、4 mg/Lになると思います。

市民団体の測定したデータがどれくらい正しいのかを検証しようと、東京都環境局が毎月ホームページ上で公表しているデータと比較してみました。この中には我々が測定していないデータも沢山含まれていますが、CODについてグラフ化してみました。

このグラフは、昭和橋、和田橋、羽村堰、拝島原水補給点を東京都が測定し、それ以外の場所は国土交通省が測定したデータを基にしています。おおよくの河川分析センターは流心で採水し、市民は川岸で採水しますので、多少のバラツキはありますが、拝島橋までは1 mg/L、日野橋で4 mg/Lと急激に高くなります。この間、多摩川上流水再生センター、八王子水再生センター、立川錦町下水処理場からの放流水が入ってきますので、急に値が高くなっています。そうすると、我々のデータとそれほど違いがないことがわかります。

こちらのグラフは、多摩川本川の電気伝導率です。水の中にプラスイオン、マイナスイオンがあると電気伝導率は高くなります。例えばナトリウムや塩化物など、家庭からの食品が処理されずに川に流入すると値が高くなります。46番・昭和くじら公園までは10 mS/m前後で、綺麗であることがわかります。青梅市の水道水も10 mS/mです。下水処理水が入ると40 mS/m前後、海水が入るとさらに値は高くなります。75番・0 km地点羽田側の値は2870 mS/mです。海水自体は5000 mS/mなので、75番付近は海水が下に潜って川の水はその上に乗っている状態であると考えます。

こちらは、多摩川本川の硝酸対窒素をグラフ化したものです。窒素やリンは、東京湾の赤潮・青潮問題にも関係しています。窒素についても、下水が入ると値が高くなります。

リン酸対リンについても同様です。47番以降、急激に値が高くなります。東京都のデータも同様で、拝島橋までは値が低くなっています。

続いて亜硝酸態窒素・アンモニウム態窒素ですが、これは魚に悪い影響を与えるので、できれば無いほうが良いのですが、下水処理水が入ると色々な有機物が入り、分解されてアンモニウム、酸化されて亜硝酸態窒素になり、六郷橋あたりで大変高い数値になっています。来年度から、美しい多摩川フォーラムでも亜硝酸態窒素を測定する予定です。

こちらのグラフは昭和橋地点の気温・水温です。これも魚にとって重要です。だいたい水温より気温が高いのですが、2月6日については水温より気温が低くなっています。一方、下水処理水が入る関戸橋の気温・水温を見てみると、秋から冬にかけて、気温より水温が高い日が続いています。

こちらは水浴場水質判定基準です。あくまで海水浴場の基準であり、川の基準ではありませんが、糞便性大腸菌群数・油膜の有無・COD・透明度のいずれかが不適になると、泳げなくなります。糞便性大腸菌群数については、1000を超えると不適となります。多摩川中下流における糞便性大腸菌群数を調べると、多摩水道橋、田園調布堰上、多摩川原橋で1000を超える大腸菌のある所が非常に多いことがわかります。東京都環境局に「1000を超えているので川で泳げないのでしょうか」と聞いたところ、「糞便性大腸菌群数は川に適用していませんので、自己判断をお願いします」と言われました。また、河川水の臭いですが、下水処理水が入ると多少臭います。東京都のデータでも、「日野橋から下流は川藻臭(微)や下水臭(微)あり」となっていました。

【水質調査結果11年間のまとめ】

- 拝島橋より上流の水質は大変きれいである。
 - ・ COD1mg/L 前後(きれい)
 - ・ 電気伝導率 10mS/m 前後
 - ・ 硝酸態窒素 0.5mg/L 前後
 - ・ リン酸態リン 0.01mg/L 前後
- 拝島橋より下流は下水処理水の流入により水質に大きな影響がある。
 - ・ COD4mg/L 前後(やや汚れている)
 - ・ 電気伝導率 40mS/m 前後
 - ・ 硝酸態窒素 4mg/L 前後
 - ・ リン酸態リン 0.3mg/L
 - ・ 1月、2月の気温1℃前後に対して水温が10℃前後と高い
 - ・ 水浴場判定基準の一つである糞便性大腸菌 1000 個/100ml を超えるところが見られる。
 - ・ 河川水はわずかに川藻臭や下水臭がある。

最後のページに、参考資料として多摩川の水環境のデータを添付しました。右

上に、生活環境の保全に関する環境基準があり、項目類型として和田橋から上流がAA、和田橋から拝島橋までA、拝島橋から下流がBとなっています。拝島橋から下流のBODは3mg/L以下、SSが25mg/L以下、大腸菌群数が5000以下と、下水処理水が入ってくるころは基準が緩くなっています。また、左下には水生生物の保全に関する環境基準があり、拝島橋より上流が生物A（イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域）、拝島橋より下流は生物B（コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域）となっており、いずれも多摩川の環境基準は（下水処理水が入る・入らない境である）拝島橋が基準になっています。東京都では、現状、環境基準を達成していると公表していますので、そのことを皆さんにも認識していただきたいと思います。

最後に、インターネット上でご紹介させていただきます。来年度より、採水地点75地点を52地点に変更するのですが、その地点をGoogleマイマップに落とし込みました。地点毎に現地の写真も載せています。この写真を見れば、実際にどの地点で採水すれば良いのかわかります。また、同じマップ上に、多摩川沿線の下水处理場、ダム・堰・魚道も落とし込み、それぞれホームページのURLを貼り付けました。ちなみに、ダムと堰の違いは、15m以上がダムで、15m未満が堰だそうです。皆さんにも見ていただき、活用していただければと思います。以上で報告を終わります。有り難うございました。

(事務局)

有り難うございました。お時間の関係で、ご質問のある方は、部会終了後に直接お願いいたします。それでは意見交換に入ります。

5. 意見交換（部会長代理）

(1) 平成31年度事業計画・同予算（案）について【資料7】

(事務局)

【資料7】をご覧ください。これは、1月29日の運営委員会でご承認いただいた【資料1】の（事務方素案）をベースに、その後さらに見直しを進め、今回の案に改めた資料になります。

まず、収入の部ですが、会費収入は1,900,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、同じく青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金4,044,776円と合わせて合計では14,294,805円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として、3,350,000円、各種活動費と

して7,536,000円を計上しております。なお、10周年記念事業の一つとして実施している「多摩川夢の桜街道」の札所見直しに伴う「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ改訂については、当初の計画どおり平成31年度予算に計上しております。また、平野副会長の全面的なご協力のもと、毎年4月に開催している「桜の語り会」は、ここ数年で桜の開花時期が早まっていることから平成31年3月に前倒しで開催する計画です。多摩川一斉水質調査・項目拡充とありますが、川の魚に有害とされる亜硝酸態窒素の調査を安定的に実施するため、計測器、試薬、備品を購入し実施する計画です。また、各事業報告としてビデオに纏めたビデオレター制作費につきましては、引き続き、撮影から編集まで完全内製化し、経費削減に努める計画です。この結果、次期繰越金見込額は3,408,805円となり、合計では、14,294,805円となります。

次ページは、平成31年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となります。補足説明をさせていただきますと、まず、経済軸の“美しき桜心の物語”の語り会は、八王子市様のご協力をいただき、高尾駅前の大光寺での開催を計画しております。多摩川酒蔵街道は、第6回目を迎え、毎年恒例となった「はとバスツアー」や「JRお座敷列車」が好評を博すなど、定着しつつありますが、さらにこの運動を活性化するため、スタンプラリーの導入を検討しております。

環境軸の多摩川一斉水質調査につきましては、今年度、渡邊部会長、山崎運営委員のご協力のもと、多摩川一斉水質調査全75地点の現況確認調査を実施、調査地点の見直しをおこないました。その結果を踏まえ、新たなスタートを切りたいと考えております。多摩川“水”大学講座につきましては、引き続き小倉副会長にお願いし、平成31年度は8年目となります。府中市様と共催する方向で計画を進めております。

教育文化軸では、参加者から評価の高かった、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会を実施できればと計画しております。

次ページをご覧ください。今年度の事業活動につきましては、ほぼ計画どおりに進めております。多摩川フォーラムは昨年度10周年を迎え、今年度につきましては、次の10年に向けてしっかりとした基盤を固めるべく、基盤の再構築に注力しました。具体的に申しますと、まず、多摩川夢の桜街道に関しては、先ほどの経過報告で触れさせていただきましたように、札所の見直しを実施しました。これに伴い、携帯マップ、そして「多摩川夢の桜街道」公式ホームページの改訂作業を進めております。また、多摩川一斉水質調査につきましては、先ほどご報告させていただきましたように、全調査地点の見直し結果を踏まえ、今年度中に新たな調査地点を確定できるように準備を進めております。「フォーラム・御岳の森」につきましては、木柵老朽化のため改修工事をおこない、毎年人気の高い「炭焼き体験と水辺の交流会」が安全に実施できるように整備しました。

なお、多摩川夢の桜街道の札所見直しに関しては、携帯マップ改訂の内容を当初の想定より充実させたこと、また、「多摩川夢の桜街道～桜の札所」のリニューアルを記念してホームページに掲載するため、ドローンを活用した多摩川空撮映像を桜にフォーカスして編集・制作したことにより、当初の計画より上振れしております。

次ページは、平成30年度活動報告と今後の予定になります。後ほどゆっくりとご覧ください。

以上で説明を終わります。渡邊部会長、よろしくお願いします。

(渡邊部会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

(山崎教育文化副部会長)

広報誌「多摩川っ子」は必要でしょうか。これを発行したからといって会員がそれほど増えるわけでもありません。あまり効果がないような気がします。いずれ縮小しても良いのではないかと思います。

(事務局)

「多摩川っ子」は100年プラン教育文化軸の柱の一つであり、平成31年度計画にも入れているのですが、前回も山崎副部会長から同様のお話をいただいておりますので、それについては、3月6日開催予定の「多摩川子ども環境シンポジウム」実行委員会で議論させていただきたいと存じます。

(渡邊部会長)

私から一つ質問があります。先ほど、多摩川酒蔵街道の取り組みに、スタンプラリーを導入して活性化したいとのことでしたが、どのようなことを検討しているのでしょうか。

(事務局)

具体的には、スタンプラリーに参加された応募者の中から抽選で各蔵の銘酒や旅行券をプレゼントすること、また、スタンプラリーだけでなく、現地に行かれない方でもクイズに応募して、応募された方の中から抽選で、5歳で使用可能なお食事券や商品券をプレゼントすることなどを事務局で提案し、小澤運営委員にご調整いただいているところです。

(渡邊部会長)

わかりました。なお、平成30年度事業計画・同予算(案)は、最終的には、総会

提出議案を審議する3月14日開催の第3回運営委員会にて、最終決定されますことをお含みおきください。他にないようでしたら、多摩川子ども環境シンポジウムについて事務局から説明してください。

(2) 多摩川子ども環境シンポジウムについて

(事務局)

はい、今後の開催に向けて整理させていただきたいことが2点あります。まず、1点目は、子どもたちの発表グループが減少している点について、もう1点は、発表者に対する審査方法についてです。因みに、現行の審査方法についてですが、グループ毎に、自分たち以外のグループで良かったと思うグループを2グループ選んでもらい、子どもたちが投票します。その集計結果を踏まえ、審査員であるフォーラム役員の皆様が決定します。結果として、今回も1番票の多いグループをグランプリ、2番目に票の多いグループを準グランプリとしました。また、グランプリ、準グランプリ以外のグループを対象に、大人目線で審査員特別賞を表彰しました。因みに、1月29日に開催された運営委員会で、細野会長より多摩川子ども環境シンポジウムの募集および審査方法について、実行委員会で議論するようにとの指示がありました。これを受け、3月6日に小倉副会長、渡邊運営委員、山崎運営委員、奥山アドバイザーにお集まりいただき、実行委員会を開催することと致しました。なお、実行委員会で議論された内容につきましては、3月14日の運営委員会で報告させていただきますが、その前に、本件に関連してご意見等ございましたらお願いします。

(渡邊部会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。無いようでしたら、来年度以降の当フォーラムの取り組みについて、事務局から説明してください。

(3) 来年度以降の当フォーラムの取り組みについて

(事務局)

先ほど100年プランのパンフレットを回覧させていただきましたが、美しい多摩づくり運動は100年を見据えた大きな運動です。フォーラム活動も昨年度10周年を終え、事業活動は定着し、安定稼働しつつありますが、今年度の活動部会では、「既存事業にいかに付加価値をつけていくのか」、「目新しい事業があった方が良い」といったご意見が寄せられました。今日は皆さんに、来年度以降の当フォーラムの取り組みについて、ぜひアイデアやご意見をいただきたいと存じます。

(渡邊部会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

(藤井 様)

多摩川は、多摩地区の重要な観光資源だと思いますので、日本人だけではなく、海外からもお客さんに来ていただき、活性化を図るべきだと思います。

(事務局)

ご意見をいただき、有り難うございました。

(山崎副部長)

多摩川フォーラムには色々な企業や団体、行政の方がいらっしゃいますので、誰が多摩川についてどういう取り組みをしているのか、多摩川フォーラムを通してアピールできるようなものがあれば良いと思います。一番手っ取り早いのは、インターネットで掲示板形式にすることです。各企業や団体が、個々のホームページでイベント情報を載せていますが、それを多摩川フォーラムがホームページ上でバックアップできる体制が取れば良いと思います。

(渡邊部長)

有り難うございました。事務局のほうで取りまとめをお願いします。他にないようでしたら、その他、事務局から説明してください。

(4) その他

(事務局)

前回の三部会合同部会で、「御岳の森」の有効活用について意見交換させていただきました。「炭焼き体験と水辺の交流会」で年1回だけしか活用されておらず、もったいないということで、貴重なご意見をいただきました。事務局としては、会員の皆さんにぜひ利用していただきたいと思っておりますが、早速、羽村市さんより今年8月に青少年の交流事業（八丈島さんとの小6～高校3年を対象にしたイベント）を計画中で、「御岳の森」の利用を検討したいとご相談いただきました。先日、現地をご案内し、前向きにご検討いただいているところです。また、民間の皆さんがBBQにご利用いただくのも良いかと思っておりますので、お気軽にご相談ください。

6. 取り組み事例の発表

(渡邊部長)

さて、本日の三部会合同部会は基本的に終了しましたが、今日はこの後、取り組み事例の発表をおこないます。一人1分程度をお願いします。なお、これからの進行については、三部会合同部会の直接の議論ではないため、議事録には記載いたしません。安心してご発言ください。なお、時間の目安として、1分経過したら事務局でアラ-

ムを鳴らします。それでは、お一人ずつ時計回りで順番にお願いします。

<自己紹介・取り組み事例については、部会直接の議論ではないため省略>

(渡邊部会長)

有り難うございました。このような機会を通じて、フォーラム会員の皆さんの活動がますます活発になれば幸いです。

7. 総括・閉会

(渡邊部会長)

時間となりました。本日は、皆さんの闊達なご意見をいただき、非常に有意義な会となりました。有り難うございました。本日の会議を終了します。

以 上